「常総ふれあいの杜」広報誌No.49 2021年夏号（季刊）

ふれあい通信

社会福祉法人
日本キングス・ガーデン

常総広域障害者支援施設
『常総ふれあいの杜』
常総市大生郷町1880番地
Tel0297−27−5016
Fax0297−27−5045
www.kings-garden.or.jp

発行責任者藤原裕也
編集員広報委員会

「南の島から」

施設長　藤原裕也

「今年の夏こそは……」そんな願いをこめて、ワクチンを二回、無事に接種していただきました……でも、感染拡大は止まらず。どこにも出かけられなくても、家族と会えなくても、じっと我慢されているご利用者にせめて夏を楽しんでいただこうと、去年中止になったサマーフェスティバルを計画しました。ロータリーで開催予定でしたが緊急事態宣言で中止に。

そこで、各ユニットが工夫をこらし、それぞれのアイデアで素敵な南の島に変身させたところ……そこに、ダンサー達（職員）が出現！みんなで歌ったり踊ったり。ＢＢＱとおいしいカレーをいただき、楽しい楽しいイベントに、笑顔もいっぱいはじけました。

大変なことが次々に起きて、それでも笑顔でいることができるのは、一人ではなく、みんながいるから。

お互いに工夫して支えあい一日一日を精一杯に過ごしています。明日のことは誰にもわかりませんが今日も空を見上げ、感謝と喜びに満たされ皆が過ごせるよう願っています。

サマーフェスティバル

土田誠一

八月二十七日、二年ぶりに、サマーフェスティバルが開催されました。

今年は感染対策のため、規模を縮小して、ユニットごとに行いました。

各ユニット飾り付けを頑張り、ハワイアンな装いに。テレビからは海の映像と波の音。

各ユニットが南の島になったところで、ダンサーと移動模擬店を引き連れて、ウクレレシンガーがユニットを回り、みなさん大盛り上がり！

カレーにお肉、アイスクリームやお菓子、ジュースに大満足。

ギリギリまで、開催するかしないか、やるならどういう形がいいのか検討し、現時点でできたのが今回のようなやり方でした。

またいつか、皆さんが集まってできる日が来ることを願っています。

菓子工房

鈴木麻里

新しいメンバーが加わりました！初日は再開を祝してお茶会です。その時に、新商品や以前作成したクッキーの話をする中で、クッキー作成の意欲が溢れているのがすぐに分かりました。翌日からクッキー作成も始めましたが、皆さんのやりがいを持って作業している姿が頼もしく感じました。

自由散策

臼倉壮彦

自由散策班では、活動での新しい取り組みとして、マイクロバスでドライブ外出をしました。坂東市の幸神平公園は、緑豊かで日陰もあり、とても素敵な場所でした。また、出かけましょう！

ハンドクラフト班

生井弘美

待ちに待った活動が再開。みんなの笑顔と、何気ないおしゃべり。今までの当たり前の日常がこんなに大切な時間だったんだと気づくことができました。今年度も、皆様にカレンダーを届けることができるよう、目標に向かって、力を合わせ活動をしていきます。

リハレク班

鈴木千恵

久しぶりにみんなで顔を合わせ、リハビリ室が、とてもにぎやかになりました。初日は、お楽しみ会としてデザートを食べました。次の日からは、休んでいたことが嘘のように個々の活動を楽しんで皆さん参加されています。日々の積み重ねの大切さを改めて教えられました。

自然耕房

磯部隆博

活動再開はアイスクリームで祝い、その後は、長雨と高温のため、室内での活動が多かったのですが、八月にはバスで、ドライブ外出をしました。畑では廃材で手作りの看板を作ったり、堆肥からカブトムシを幼虫から育てました。

在宅班

鈴木千恵

天気の良い日は、テントを張ってその下にプールを三個設置して、水遊びをしました。水鉄砲を使う方、バケツや桶に水を入れる方、支援員を狙う方、自分にかける方等、それぞれの楽しみ方で暑さを吹きばしました。あっという間に夏が過ぎ去ってしまいましたが、また来年が楽しみです。

みんな金メダル

羽生奈美枝

▽緊急事態宣言の中、無観客での東京２０２０オリンピック、パラリンピック▽日本選手の活躍は、目を見張るものあり、たくさんの感動あり、そしてメダルの耀き！▽ふれあいの杜では面会や外泊が出来なくなり、二回目の夏が、もうすぐ終わろうとしています▽「逢いたい、帰りたい」を胸にー心に頑張っている毎日。これこそ、金メダルですよね▽空にはー番星、どうかみんなの想いが届きますように。

編集後記✍／今年は、二年ぶりにサマーフェスティバルが出来ました。この様子を、ホームページからもご覧になれます。（岡田）